



【参加者総数】	31名
講師	1名
一般参加者	23名
VC職員	2名
パークボランティア	5名

【概況】

- ・ 好天に恵まれ、新葉が萌え始めたばかりの広葉樹林内、樹々の梢には小鳥たちの囀りも響き、大変心地良い散策のひとつときであった。
- ・ 工藤講師の解説に一般参加者もメモを取りながら熱心に観察していた。
- ・ 今回は予想を超える種類の花々を確認出来て、鞍掛山麓の豊かな自然を改めて確認出来た。

【出動PV】

今回はP V研修会と同時進行であり、うち5名が当該行事のサポートに当たった。

【今回、観察できた動植物の一部】



ヒダカエンレイソウ (撮影：民部田)



ツバメオモト (撮影：伊藤)



フデリンドウ



センボンヤリ



ツボスマレ (ノヨスマレ)



キジムシロ  
(撮影：民部田)



アケボノスマレ



シラネアオイ



ヒトリズカ



シュンラン



キバナイカリソウ



アカゲラ (撮影：伊藤)



? ?

**花と昆虫の関係**

「どうして地面すれすれに咲いているんだろう？」  
「なぜ下向きに咲いているの？」

花を観察していてそんな疑問が浮かんできませんか？  
花を眺めていると昆虫が蜜を吸っている姿に出会うことが数多くあります。花の形が種類によって違うように、昆虫も個性的な姿や口の形をしています。花粉に埋もれてしまいそうな小さな昆虫から、飛びながら吸蜜する器用な昆虫まで様々。動くことのできない植物は、自由に動き回れる昆虫に花粉を運んでもらえるよう蜜などのご褒美を準備しています。色や形など工夫が凝らされた花とそれにマッチしている昆虫の存在を目にすると、長い間持ちつ持たれつのか関係を作り上げていることがうかがえます。昆虫の訪問の様子も観察してみましょう！

ヒトリシスカ

平成30年5月12日(土)  
講師 工藤 宏氏 (岩手植物の会)  
主催 網張ビジターセンター運営協議会  
協力 岩手山地区パークボランティア  
環境省盛岡管理官事務所



配布資料の一部



開会セレモニー



講師 工藤宏氏紹介



「サァー身体をほぐそう」



(撮影：伊藤)

